

総合事務所問題は「諮問に匹敵する重要事項」

時間外受付体制見直しはもっと時間をかけて議論を

総合事務所の時間外受付体制見直しについては、「いったん保留し、地域協議会でさらなる議論を」「実施時期を延期し、住民の意向や意思確認を」という2つの請願、それに9月議会に提出されていた100円バスの実現などを求める請願も12月議会の最終日に、討論、採決が行われました。

いずれの請願も賛成は日本共産党議員団など6人で、不採択となりました。

このうち、総合事務所の時間外受付体制見直しに関する請願では、私、橋爪が賛成討論を行いました。

私は、「平成の大合併後10数年経つなかで、人口減少と高齢化と役所機能の縮小の関連性を指摘する声が日本弁



護士会連合会シンポジウムで出たことだが、この指摘を重く受け止めている。そういうなかで、今回の時間外

受付の見直しなどが区民の生活にどう

いう影響を与えるか心配されている。

地域協議会が地域自治体の設置に関する

条例に基づいて、この問題をしっかりと

審議し、意見書を出していくことの

重要性についてはまったく同感だ。私

は今回の見直し問題が、条例上、諮問

事項にはならないけれども、諮問に匹

敵するくらい重要な事項であると思っ

ている」とのべて、賛成を求めました。

100円バスの実現などを求めた

「公共交通機関である路線バス利用に

関する請願」については日本共産党議

員団の橋本正幸議員が討論しました。

同議員は、「本請願は少子高齢化が

進む中で、高齢者、障害者などの「交

通弱者」が安心してバスを利用できる

ようにすること、バスが『安くして便

利』な公共交通機関としての役割を大

いに発揮できるようにすることなどを

目的に、1161人の賛同署名を添えて

提出された。私たち議員団は、請願

者のこの熱意と努力に心から敬意を表

する」「全国各地でこれからの公共交

通機関をどうするか議論がされ、静

岡県掛川市等多くの自治体でワンコイ

ンバスの取り組みがされている。確か

に、1回の乗車のバス運賃を100円

にすることや高齢者や障害者などの利

用料金の無料化などを実現をしていく



【サザンカ】ツバキ科の常緑樹。秋からいまごろまで赤や白の花を差k背ます。漢字で「山茶花」と書きます。本来は「サンサカ」と呼んでいたようですが、それがなまって「サザンカ」となったとか。花言葉は「困難に打ち克つ」「ひたむきさ」。吉川区片田にて25日、撮影しました。

ためには少なくなるお金がかかるが、実施自治体では施策の重点の一つとして位置付けるなかで財源の手当てをし、実現させている。これは当市でもできないことではない」と訴えました。

請願に関する討論は私と橋本正幸議員の賛成討論だけで、反対者の討論はありませんでした。傍聴に駆けつけた人たちは、「反対討論をしないで反対というのはおかしい」と訴えていました。

実施前提の付帯決議では意味がない

総合事務所時間外受付体制見直し関連の予算が含まれている一般会計補正

予算が採決されたのち、いくつかの会派から付帯決議が提案されました。

決議の内容は、

- ①時間外における防災行政無線の放送を迅速かつ確実にできるよう、複数職員による連絡体制の構築とマニュアル化、並びにその検証を兼ね

観光交流ビジョン(案)で議論

市議会文教経済常任委員会に20日、上越市観光交流ビジョン(案)が示されました。「ありがたい姿」として打ち出されたのは、「来訪者が市民の日常に溶け込み楽しい観光地域」。「観光は楽しいものだから」がキーワードです。議論の内容は次号か次次号で報告します。



口ロン南瓜。26日、撮影。

た訓練を行うこと、②時間外受付の見直しにあたっては、地域住民への説明を一層丁寧に行うとともに、令和2年当初からの円滑な実施に向け最善を尽くすこと、の2点です。

日本共産党議員団及び市民クラブは、決議は「令和2年当初からの円滑な実施」を前提にしたものだとして反対しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1940 2019.12.29
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

 橋爪法一 検索

春よ来い

第五八八回 十二月の凍み渡り

もうほとんど消えてしまいました。冬は雪が早かったですね。多いところは、五〇センチほどの積雪となったようです。「えっ、まさか」と思ったのは、凍み渡りができたという知らせです。

一月九日の朝のことでした。市内山間に住むAさんが、フェイスブックで、「初、しみわたり」という見出しをつけて発信してくれたのです。

おはようございます()
いや、ガリンガリン、つるんつるんの朝
そして空は青空

だから今朝は一番の寒さかな。
今年初、しみわたり()

しみわたりってご存じでしょうか？
さむーい朝に雪がかたくなり、その上を歩いていけること。いつときの楽しみなんですよ。

雪の上をウサギかな
足跡も発見。

しみわたりができるようになってから、
フクフクウキウキ……(中略)……
サクサク、ザクザクって音がまたフクフク感をアップさせます(笑)

どうです、素敵な文章でしょう。この文章を読んだだけでも雪の上を歩いたときの楽しい気分がひたることができるとはないでしょうか。たぶん、Aさんは、自宅の近くの田んぼがグラウンドで凍み渡りをされたんだと思います。

Aさんの発信には、この文章と共に写真も添えられていました。ブーツをはいて雪の上にあがった時の様子を自撮りした写真です。青いスカートの下ですらりと伸びた足とそれをしっかりと守っているブーツはまったく埋まっています。改めて言うまでもないと思いますが、凍

み渡りとは、凍った雪の上を歩くことを言います。前日は晴れて、その夜は地上の熱がほとんど逃げ去っていき、翌朝は冷え込み。放射冷却現象が起きたときに、雪が凍ってガチガチになるのです。道路はまさに「ガリンガリン、つるんつるん」、大地はすべて「雪コンクリート」、こうして凍み渡りができるよつになります。

当然のことながら、凍み渡りができるためには一定の積雪がなければなりません。少なくとも三〇センチ前後は積もっていることが必要だと思っています。

それにしても一月二日に凍み渡りができるとは思いませんでした。やはり異常気象なのでしょうか。雪国で生まれ、雪国で育った人間ですから、ずっと冬を見てきました。が、一月二日に凍み渡りしたという話は初めて聞きました。

これまで、私が一番早く凍み渡りできたのは四年前の一月二日の朝でした。この日の日記には次のように書きました。

「冷え込みました。今冬で一番でしょう。おはようございます。今朝はカメラを持つ手が冷たい、というよりも痛いのです。雪の上のぼつても足がうまりません。近くの雪原をゆっくり歩き回りました。一月に凍み渡りができるとは思いませんでした。いつも思うのは、凍み渡りをしていくときの解放感。最高です、雪国、最高です」

今冬の初の凍み渡りが私が体験した時よりもさらに一ヶ月以上早いとなれば、今冬は、長期間に何度も凍み渡りができるかも知れません。

どうあれ、凍み渡りは冬の間に少なくとも一回はやりたいものです。出来れば、私たちが育った産場の野山をどんどん歩いて、子ども時代の遊び仲間を思い出したい。そしてウサギやヤマドリにも会ってみたい。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月18日(水)	12月25日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.077	0.063
東頸消防署	0.057	0.053
高士分遣所	0.067	0.050
名立分遣所	0.053	0.050

2019年10大ニュース



- ①上越市吉川区にコウノトリ飛来。
- ②参院選で「打越さくら」当選。
- ③消費税率10%強行。市施設は税率改定分プラス「定期改定分」で大幅値上げ多数。
- ④市議会史上初の模擬議会開催。吉中3年生健闘。
- ⑤厚労省、公立等病院の再編統合促し病院名公表。
- ⑥台風21号被害、名立、桑取などで発生。
- ⑦猛暑続き、一等米比率10%台にとどまる。
- ⑧総合事務所の時間外受付体制見直しに批判。
- ⑨広島平和記念式典への中学生派遣、3分の1に。
- ⑩聴信寺前住職の「花は散っても」が話題に。



春よ来い

第五八八回 十二月の凍み渡り

もうほとんど消えてしまいました。今冬は雪が早かったですね。多いところは、五〇センチほどの積雪となったようです。「えっ、まさか」と思ったのは、凍み渡りができたという知らせです。

一月九日の朝のことでした。市内山間に住むAさんが、フェイスブックで、「初、しみわたり」という見出しをつけて発信してくれたのです。

おはようございます()
いや、ガリンガリン、つるんつるんの朝
そして空は青空

だから今朝は一番の寒さかな。
今年初、しみわたり()

しみわたりってご存じでしょうか？
さむい朝に雪がかたくなり、その上を歩いていけること。いっききの楽しみなんですよ。

雪の上をウサギかな
足跡も発見。

しみわたりができるようになってから、
ワクワクウキウキ……(中略)……
サクサク、ザクザクって音がまたワクワク感をアップさせます(笑)

どうです、素敵な文章でしょう。この文章を読んだだけでも雪の上を歩いたときの楽しい気分がひたることができるとはないでしょうか。たぶん、Aさんは、自宅の近くの田んぼがグラウンドで凍み渡りをされたんだと思います。

Aさんの発信には、この文章と共に写真も添えられていました。ブーツをはいて雪の上にあがった時の様子を自撮りした写真です。青いスカートの下ですらりと伸びた足とそれをしっかりと守っているブーツはまったく埋まっています。改めて言うまでもないと思いますが、凍

み渡りとは、凍った雪の上を歩くことを言います。前日は晴れて、その夜は地上の熱がほとんど逃げ去っていき、翌朝は冷え込み。放射冷却現象が起きたときに、雪が凍ってガチガチになるのです。道路はまさに「ガリンガリン、つるんつるん」、大地はすべて「雪コンクリート」、こうして凍み渡りができるよつになります。

当然のことながら、凍み渡りができるためには一定の積雪がなければなりません。少なくとも三〇センチ前後は積もっていることが必要だと思えます。

それにしても一月二日に凍み渡りができるとは思いませんでした。やはり異常気象なのでしょうか。雪国で生まれ、雪国で育った人間ですから、ずっと冬を見てきました。が、一月二日に凍み渡りしたという話は初めて聞きました。

これまで、私が一番早く凍み渡りできたのは四年前の一月二日の朝でした。この日の日記には次のように書きました。

「冷え込みました。今冬で一番でしょう。おはようございます。今朝はカメラを持つ手が冷たい、というよりも痛い。雪の上のぼつても足がうまりません。近くの雪原をゆっくり歩き回りました。一月に凍み渡りができるとは思いませんでした。いつも思うのは、凍み渡りをしていくときの解放感。最高です、雪国、最高です」

今冬の初の凍み渡りが私が体験した時よりもさらに一ヶ月以上早いとなれば、今冬は、長期間に何度も凍み渡りができるかも知れません。

どうあれ、凍み渡りは冬の間に少なくとも一回はやりたいものです。出来れば、私が育った産場の野山をどんどん歩いて、子ども時代の遊び仲間を思い出したい。そしてウサギやヤマドリにも会ってみたい。

2019年10大ニュース



- ①上越市吉川区にコウノトリ飛来。
- ②参院選で「打越さくら」当選。
- ③消費税率10%強行。市施設使用料は税率改定分プラス「定期改定分」で大幅値上げとなるものが多数。
- ④上越市議会史上初の模擬議会開催。吉中3年生が議長、議員などを分担し、一般質問を行う。
- ⑤厚労省、公立・公的病院の再編統合を促し病院名公表。関係自治体、住民など怒りの声あげる。
- ⑥台風21号被害、名立、桑取などで発生。超大型台風対策待ったなし。
- ⑦猛暑続き、一等米比率10%台にとどまる。
- ⑧総合事務所の時間外受付体制見直しに批判。
- ⑨広島平和記念式典への中学生派遣、これまでの24人から3分の1の8人に。
- ⑩聴信寺前住職の書いた最後の掲示板、「花は散っても」が話題に。

